

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 豊洲フォレシア
ルネサス エレクトロニクス株式会社

問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/contact/>

E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU & MCU	発行番号	TN-RZ*-A008A/J	Rev.	第1版
題名	RZ/T1 グループユーザーズマニュアル ΔΣインタフェース仕様記載不具合の訂正		情報分類	技術情報	
適用製品	RZ/T1 グループ	対象ロット等	関連資料	RZ/T1 グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編 Rev.1.0 R01UH0483JJ0100 Rev.1.00	
		全ロット			

RZ/T1 グループにおいて、ユーザーズマニュアルの内容に誤りがあることが判明致しました。

お手数をおかけ致しますが、本内容をご配慮の上、ご使用いただきますようお願い致します。

1. ユーザーズマニュアルハードウェア編 Rev1.0 について

RZ/T1 グループユーザーズマニュアルハードウェア編 Rev1.0 を参照し、ΔΣインタフェースの設定例 (図 41.9) に従って設定すると、ΔΣインターフェースのステータスレジスタおよび ECM(Error Control module)にてエラーが発生します。

また、ΔΣインターフェースのレジスタアドレスおよび ECM エラー要因の記載不具合により、ユニット 1 において常に ECM にてエラーが発生します。

つきましては、2 項および 3 項の内容を参照してください。

本内容は、次回改版するユーザーズマニュアルハードウェア編にて修正されます。

2. 訂正内容

表 1.1 ユーザーズマニュアル正誤表 (1)

ページ	対象(レジスタ名/図番等)	誤	正
p.181	XYZ 過電流異常検出下限値設定レジスタ	アドレス : A007 2088h	アドレス : A007 2098h
p.182	XYZ 過電流異常検出上限値設定レジスタ	アドレス : A007 208Ch	アドレス : A007 209Ch
p.2296	ビットシンボル図	b8 -	b8 ERXI
p.2296	ビットシンボル図	b0 ERXI	b0 -
P.2296	XYZ ステータスレジスタ(XYZSTA) ビット b0	シンボル : ERXI ビット名 : チャネル 3(X) 過電流異常検出ステータ スビット 説明 : チャネル 3(X)の～ 本ビットに 1 を書き込む	シンボル : - ビット名 : 予約ビット 説明 : 読んだ場合、その値は 不定です。書く場合、“0”とし てください。

表 1.2 ユーザーズマニュアル正誤表（2）

ページ	対象(レジスタ名/図番等)	誤	正
p.2296	XYZ ステータスレジスタ(XYZSTA) ビット b8	シンボル：－ ビット名：予約ビット 説明：読むと“0”が読めます。書く場合、“0”としてください	シンボル：ERXI ビット名：チャンネル3(X)過電流異常検出ステータスビット 説明：チャンネル3(X)の過電流異常検出状態を示します。 0：過電流異常無し 1：過電流異常有り 1セット条件：X2DATAレジスタの電流値データにて過電流異常を検出された場合 0クリア条件：1にセットされた後に、本ビットに1を書き込む
p.2296	XYZ ステータスレジスタ(XYZSTA) ビット b3-b1	読むと“0”が読めます。書く場合、“0”としてください。	読んだ場合、その値は不定です。書く場合、“0”としてください。
p.2297	XYZ 過電流異常検出下限値設定レジスタ(XYZIUNCOMP)	アドレス:A007 2088h	アドレス:A007 2098h
p.2297	XYZ 過電流異常検出上限値設定レジスタ(XYZIOVCOMP)	アドレス:A007 208Ch	アドレス:A007 209Ch
p.2308	図 41.9	UM1.0 図 41.9 参照	本レポート図 1.1 参照
p.2310	41.5.1 モジュールストップ解除時のエラー要因の初期化	<p>(1) DSMIF のエラーステータスレジスタをクリア (注1)</p> <p>(2) ECM の DSMIF エラー番号 (No.26 ~ 29, 31) のエラーステータスをクリア</p> <p>(3) ECM の DSMIF エラー番号 (No.26 ~ 29, 31) を許可</p> <p>(4) DSMIF を設定手順に従い動作開始</p> <p>(5) 短絡異常検出エラーが発生した場合、UVWSTA、XYZSTAレジスタをリードすればチャンネル0~3(U、V、W、X)のいずれかでエラーが発生したか確認することが可能です。(注2)</p> <p>注1. (1)は(2)の後でも問題ありません</p>	<p>(1) ECM エラーマスクレジスタ0でエラー出力信号をマスク (No.26~28,30,31) bit28は1のまま変更しないでください。</p> <p>(2) フィルタ動作の許可</p> <p>(3) フィルタ動作時間分のウェイト</p> <p>(4) DSMIF のエラーステータスレジスタをクリア (注1)</p> <p>(5) ECM エラーソースステータスクリアトリガレジスタ0のDSMIFエラー番号 (No.26~28,30,31) のエラーステータスをクリア</p> <p>(6) ECM の DSMIF エラー番号 (No.26~28,30,31) を許可</p> <p>(7) ECM エラーマスクレジスタ0でエラー信号出力のマスクを解除 (No26~28,30,31) bit28は1のまま変更しないでください</p> <p>(8) 短絡異常検出エラーが発生した場合、UVWSTA、XYZSTAレジスタをリードすればチャンネル0~3(U、V、W、X)のいずれかでエラーが発生したか確認することが可能です。(注2)</p> <p>注1. (4)は(5)の後でも問題ありません</p> <p>フロー詳細は、本通知図 1.1を参照してください。</p>

表 1.3 ユーザーズマニュアル正誤表（3）

ページ	対象(レジスタ名/図番等)	誤	正
p.2313	表 42.2(エラー要因番号 29)	モジュール： $\Delta \Sigma$ インタフェース 機能：X 過電流異常検出エラー	モジュール：－ 機能：予約
p.2313	表 42.2(エラー要因番号 30)	モジュール：－ 機能：予約	モジュール： $\Delta \Sigma$ インタフェース 機能：X 過電流異常検出エラー
p.2317	ビットシンボル図	b28 ECMmSSE028	b28 －
p.2317	ビットシンボル図	b29 －	b29 ECMmSSE029
p.2319	ECM マスタ/チェッカエラーソースステータスレジスタ 0(ECMmESSTR0) ビット b28	シンボル：ECMmSE028 ビット名：エラー要因ステータスビット 29 機能：エラー要因 29～1: エラー発生	シンボル：－ ビット名：予約ビット 機能：読んだ場合、その値は不定です。
p.2319	ECM マスタ/チェッカエラーソースステータスレジスタ 0(ECMmESSTR0) ビット b29	シンボル：－ ビット名：予約ビット 機能：読むと”0”が読めます	シンボル：ECMmSE029 ビット名：エラー要因ステータスビット 30 機能：エラー要因 30 の X 過電流異常検出エラーの発生を示します。 0：エラー未発生 1：エラー発生
p.2323	ビットシンボル図	b28 ECMMIE028	b28 －
p.2323	ビットシンボル図	b29 －	b29 ECMMIE029
p.2325	ECM マスカブル割り込みコンフィグレーションレジスタ 0(ECMMICFG0) ビット b28	シンボル：ECMMIE028 ビット名：ECM マスカブル割り込み発生制御ビット 29 機能：エラー要因 29 の～1:割り込み発生許可	シンボル：－ ビット名：予約ビット 機能：読むと 0 が読めます。書く場合、0 としてください。
p.2325	ECM マスカブル割り込みコンフィグレーションレジスタ 0(ECMMICFG0) ビット b29	シンボル：－ ビット名：予約ビット 機能：読むと”0”が読めます。書く場合、0 としてください。	シンボル：ECMMIE029 ビット名：ECM マスカブル割り込み発生制御ビット 30 機能：エラー要因 30 の X 過電流異常検出エラーの発生によるマスカブル割り込みの許可/禁止を制御します。 0：割り込み発生禁止 1：割り込み発生許可
p.2325	ECM マスカブル割り込みコンフィグレーションレジスタ 0(ECMMICFG0) ビット b30	ビット名：ECM マスカブル割り込み発生制御ビット 30	ビット名：ECM マスカブル割り込み発生制御ビット 31
p.2325	ECM マスカブル割り込みコンフィグレーションレジスタ 0(ECMMICFG0) ビット b31	ビット名：ECM マスカブル割り込み発生制御ビット 31	ビット名：ECM マスカブル割り込み発生制御ビット 32
p.2328	ビットシンボル図	b28 ECMNMIE028	b28 －

表 1.4 ユーザーズマニュアル正誤表（4）

ページ	対象(レジスタ名/図番等)	誤	正
p.2328	ビットシンボル図	b29 -	b29 ECMNMIE029
p.2330	ECM ノンマスカブル割り込みコンフィグレーションレジスタ0(ECMNMICFG0) ビット b28	シンボル： ECMNMIE028 ビット名：ECM ノンマスカブル割り込み制御ビット 29 機能：エラー要因 29 の～1:割り込み発生許可	シンボル：- ビット名：予約ビット 機能：読むと”0”が読めます。書く場合、0としてください。
p.2330	ECM ノンマスカブル割り込みコンフィグレーションレジスタ0(ECMNMICFG0) ビット b29	シンボル：- ビット名：予約ビット 機能：読むと”0”が読めます。書く場合、0としてください。	シンボル：ECMNMIE029 ビット名：ECM ノンマスカブル割り込み制御ビット 30 機能：エラー要因 30 の X 過電流異常検出エラーの発生によるノンマスカブル割り込みの許可/禁止を制御します。 0：割り込み発生禁止 1：割り込み発生許可
p.2333	ビットシンボル図	b28 ECMIRE028	b28 -
p.2333	ビットシンボル図	b29 -	b29 ECMIRE029
p.2335	ECM 内部リセットコンフィグレーションレジスタ 0(ECMIRCFG0) ビット b28	シンボル：ECMIRE028 ビット名：ECM 内部リセット発生制御ビット 29 機能：エラー要因 29 の～1:ECM リセット発生許可	シンボル：- ビット名：予約ビット 機能：読むと”0”が読めます。書く場合、0としてください。
p.2335	ECM 内部リセットコンフィグレーションレジスタ 0(ECMIRCFG0) ビット b29	シンボル：- ビット名：予約ビット 機能：0以外書き込まないでください。	シンボル：ECMIRE029 ビット名：ECM 内部リセット発生制御ビット 30 機能：エラー要因 30 の X 過電流異常検出エラーの発生によるECM リセット発生の許可/禁止を制御します。 0：ECM リセット発生禁止 1：ECM リセット発生許可
p.2335	ECM 内部リセットコンフィグレーションレジスタ 0(ECMIRCFG0) ビット b31	ビット名：ECM 内部リセット発生制御ビット	ビット名：ECM 内部リセット発生制御ビット 32
p.2338	ビットシンボル図	b29 -	b29 ECMEMK029
p.2340	ECM エラーマスクレジスタ 0 (ECMEMK0) ビット b28	ビット名：ECM エラー出力信号マスク制御ビット 29 機能：エラー要因 29 の～1:エラー信号出力をマスクする	ビット名：ECM エラー出力信号マスク制御ビット 29 機能：必ず 1 を書いてください。

表 1.5 ユーザーズマニュアル正誤表 (5)

ページ	対象(レジスタ名/図番等)	誤	正
p.2340	ECM エラーマスクレジスタ 0 (ECMEMK0) ビット b29	シンボル：－ ビット名：予約ビット 機能：0 以外書き込まない でください。	シンボル：ECMEMK029 ビット名：ECM エラー出力信号 マスク制御ビット 30 機能：エラー要因 30 の X 過電流 異常検出エラーの発生による ECM エラー出力信号のマスク 制御をします。 0：エラー信号出力をマスクしな い 1：エラー信号出力をマスクする
p.2343	ビットシンボル図	b28 ECMCLSSE028	b28 －
p.2343	ビットシンボル図	b29 －	b29 ECMCLSSE029
p.2345	ECM エラーソースステータスクリアト リガレジスタ 0(ECMESSTC0) ビット b28	シンボル： ECMCLSSE028 ビット名：ECM エラー状 態クリアビット 29 機能：エラー要因 29 の～ 1:対応するエラー状態を クリアする	シンボル：－ ビット名：予約ビット 機能：読むと”0”が読めます。 書く場合、0としてください。
p.2345	ECM エラーソースステータスクリアト リガレジスタ 0(ECMESSTC0) ビット b29	シンボル：－ ビット名：予約ビット 機能：0 以外書き込まない でください。	シンボル：ECMCLSSE029 ビット名：ECM エラー状態クリ アビット 30 機能：エラー要因 30 の X 過電流 異常検出エラーのエラー状態を クリアし、 ECMmESSTR0.ECMmSSE029 ビットをクリアします。 0：対応するエラー状態は変わら ない 1：対応するエラー状態をクリア する
p.2348	ECM 保護ステータスレジスタ (EMCPS) ビット b0	R/W：W	R/W：R
p.2348	ECM 保護ステータスレジスタ (EMCPS) ビット b7-b1	機能：書く場合、0として ください。 R/W：W	機能：0が読めます。 R/W：R
p.2349	ビットシンボル図	b28 ECMPE028	b28 －
p.2349	ビットシンボル図	b29 －	b29 ECMPE029
p.2351	ECM 疑似エラートリガレジスタ 0 (ECMPE0) ビット b28	シンボル：ECMPE028 ビット名：ECM エラート リガビット 29 機能：エラー要因 29 の～ 1:対応するエラーを疑似 的に発生する	シンボル：－ ビット名：予約ビット 機能：読むと”0”が読めます。 書く場合、0としてください。

表 1.6 ユーザーズマニュアル正誤表 (6)

ページ	対象(レジスタ名/図番等)	誤	正
p.2351	ECM 疑似エラートリガレジスタ 0 (ECMPE0) ビット b29	シンボル：－ ビット名：予約ビット 機能：0 以外書き込まない でください。	シンボル：ECMPE029 ビット名：ECM 疑似エラートリ ガビット 30 機能：エラー要因 30 の X 過電流 異常検出エラーを疑似的に発生 させます。 0：疑似エラーを発生しない 1：対応するエラーを疑似的に発 生する
p.2356	ビットシンボル図	b28 ECMTE028	b28 －
p.2356	ビットシンボル図	b29 －	b29 ECMTE029
p.2358	ECM ディレイタイマコンフィグレーションレジスタ 0(ECMDTMCFG0) ビット b28	シンボル：ECMTE028 ビット名：ECM ディレイ タイマスタート制御ビット 29 機能：エラー要因 29 の～ 1:ディレイタイマスタート 許可	シンボル：－ ビット名：予約ビット 機能：読むと”0”が読めます。 書く場合、0としてください。
p.2358	ECM ディレイタイマコンフィグレーションレジスタ 0(ECMDTMCFG0) ビット b29	シンボル：－ ビット名：予約ビット 機能：0 以外書き込まない でください。	シンボル：ECMTE029 ビット名：ECM ディレイタイマ スタート制御ビット 30 機能：エラー要因 30 の X 過電流 異常検出エラーによって発生す る ECM マスカブル割り込みに よるディレイタイマの動作を許 可します。 0：ディレイタイマスタート禁止 1：ディレイタイマスタート許可
p.2361	ビットシンボル図	b28 ECMTE328	b28 －
p.2361	ビットシンボル図	b29 －	b29 ECMTE329
p.2363	ECM ディレイタイマコンフィグレーションレジスタ 3(ECMDTMCFG3) ビット b28	シンボル：ECMTE328 ビット名：ECM ディレイ タイマスタート制御ビット 29 機能：エラー要因 29 の～ 1:ディレイタイマスタート 許可	シンボル：－ ビット名：予約ビット 機能：読むと”0”が読めます。 書く場合、0としてください。
p.2363	ECM ディレイタイマコンフィグレーションレジスタ 3(ECMDTMCFG3) ビット b29	シンボル：－ ビット名：予約ビット 機能：0 以外書き込まない でください。	シンボル：ECMTE329 ビット名：ECM ディレイタイマ スタート制御ビット 30 機能：エラー要因 30 の X 過電流 異常検出エラーによって発生す る ECM ノンマスカブル割り込 みによるディレイタイマの動作 を許可します。 0：ディレイタイマスタート禁止 1：ディレイタイマスタート許可

3. ユーザーズマニュアルハードウェア編 図 41.9 の訂正図

赤字が追加内容です。黒字で記載されている内容は同じですが、順番が訂正されていますので、ご注意ください。



図 1.1 設定フロー

以上